

経尿道の尿管結石破碎術

患者氏名：

様

ID:

病名:

現在の症状:

病棟:

主治医氏名:

印 在宅復帰支援担当者名:


担当者:

本人・家族署名:

フェーズ			
入院日数	1日目 (入院日)	2日目	2日目
		手術前	手術後
達成目標	医師・看護師の説明を受け、手術に対する不安が軽減する。	不安が軽減し、手術に望める。	痛みが緩和し、安楽に過ごせる。
記録			
医師指示			
観察 ・モニター			血圧計を巻きます。 時間ごとに自動的に測ります。
検査	手術に必要な検査、 外来で済まされている場合は不要です。 		
画像診断			
内服・外用	入院時に内服されているお薬を見させていただきます。必要なお薬のみ内服していただきます。	手術の朝、必要なお薬のみ飲んでいただきます。 朝早めに浣腸をします。	お薬は飲みません
注射	特にありません。	朝より点滴を始めます。 麻酔導入目的で病室を出る際に肩に筋肉注射をします。ベッドで手術室に行きます。	翌日まで点滴を行います。
治療・手術 ・リハビリ		() 時に手術室へ行きます。	
活動・清潔	活動に制限はありません。 17時までにシャワーに入ってください。	活動に制限はありません。 	翌日朝までベッド上安静です。 座ることもできません。 うがい・歯磨きはできます。
食事・栄養	普通食がです。(病気によっては治療食) 24時以降は食事はできません 栄養管理の有無(有・無)	手術当日は何も食べられません。 水分は朝6時まで構いません。 	19時から水分摂取は可能です。 翌日朝まで食べることはできません。
教育・指導	・入院までの経過、これまでの病気についてお伺いします。 ・手術の同意書に記入できましたら手術までに看護師までお渡しください。 ・尿をためていただきます。		・医師より手術の説明があります。 ・痛みは我慢せずに申し出てください。 ・手術後は尿の管が入ります。

*病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

*入院期間については、現時点で予想されるものである。

3日目 手術後1日目	4日目 手術後2日目	5日目～退院 手術後3日目～退院
麻酔の副作用なく過ごせる。 歩行ができる。 血尿なく自尿がみられる。	血尿がなく尿の管が抜去できる。	残尿がなく1日1500ml以上の尿が出る。
検温をします。尿の観察をします。	検温をします。 尿の管を抜けば、血尿や排尿時の痛みなどを 確認 します。	検温をします。
朝、採血をします。 砕石効果、石の状況を確認するために レントゲンを午前中に撮影します。		
医師の指示によりお薬を再開します。		退院時に薬の処方があります。 薬剤師の方から薬の説明があります。 栄養士の方から栄養指導があります。
点滴は終われば夜間は抜くことができます。 (翌日で点滴は終了です)	点滴は本日で終了です。	
術後1日目の朝より起き上がれます。 回診後から歩行も可能です。 朝、体を拭きにまいります。	活動に制限はありません。 尿の管が抜けましたらシャワー浴が行えます。	
手術翌朝よりお粥が出ます。 夜からは普通食がでます。	普通食です。 水分は多めに取ってください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を抜いた後から尿をためてください。 水分はおおめに取ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 水分は1500ml以上取るようにしましょう。 適度な運動を心がけましょう。